

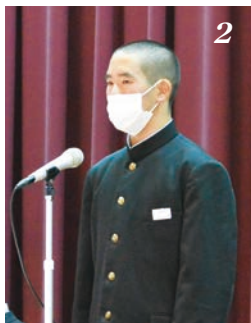
## 50年の歴史と伝統を未来へ

◎広見中学校 50周年記念式典

10月29日、広見中学校で50周年記念式典が開催され、生徒や教職員、歴代広見中学校の校長など約200人が参加しました。

行定永校長は「皆さんや皆さんの後輩たちが広見中学校の歴史と伝統を継承し、ふるさと鬼北を盛り上げていくことを願っている」と挨拶し、生徒会長の高田貞治さんは「50年後の100周年には、広見中学校に誇ることが出来る自分に成長し、故郷に恩返しができるように頑張りたい」と、今後の活躍を誓いました。その後、太鼓集団「魁」がデビュー曲「躍動」を披露し、会場を盛り上げました。

記念講演では、きむらバンドさんと赤木裕さんのお笑いコンビ「たくろう」が漫才を披露。きむらバンドさんは幼少期を好藤地区で過ごした、鬼北町とも縁があるお笑い芸人です。たくろうは、生徒たちが夢への挑戦というテーマで用意した質問に笑いを誘いながら答え、挑戦することの大切さを伝えていました。



1 校歌斉唱をする在校生 2 生徒会長の言葉を述べる高田貞治さん 3 太鼓集団「魁」広見中学校1年生の三好愛莉さん（中）も演奏を披露 4 漫才を披露した「たくろう」赤木裕氏（左）、きむらバンド氏（右）

## 賑わいに向けたワークショップが完結

◎近永駅周辺賑わい創出プロジェクト



10月23日、中央公民館で、最後となる近永駅周辺賑わい創出プロジェクトワークショップが開催されました。

近永駅舎が町へ譲渡されることを契機に、駅舎の活用を、産学官民が連携して検討する場として始まったワークショップ。令和元年度に6回、2年度に4回、今年度は2回開催されました。

今回のワークショップでは、北宇和高校の生徒ら約40人が参加。矢野寿洋氏をアドバイザーに迎え、広場、商い、交流、学びの4つのテーマで班ごとに話し合い、企画書を作成しました。今後、この企画書を参考に駅舎の設計が行われる予定です。

## 高校生が地域課題の解決策を模索

◎北宇和高校 地域活性化出前講座



10月18日、北宇和高校体育館で「地域活性化出前講座」が開催されました。

さまざまな地域課題の解決に向けて、生徒自身が考えて行動する探究学習を通し、町の魅力を再発見してもらおうと町が初めて開催しました。講座では、高校魅力化などに取り組む(株)PrimaPinguinoの藤岡慎二代表取締役らを講師に迎え、生徒たちは賑わい創出や交流人口の拡大など6つのテーマに分かれ、町職員らから町が取り組む事業の内容や課題などについて学びました。今後、4回の講座が予定されており、生徒たちはテーマごとに分析を行い、必要な取り組みなどについて考えていきます。